

# 鵬は羽ばたく

新潟市立木戸中学校

〒950-0891

新潟県新潟市東区上木戸 5-1-1

TEL 274-2615 FAX 274-2616

学校だより 令和6年1月18日(木)

教育目標 「創造力を養い 仲間と共に 広く世界をみつめる」

第 4 号

元日の大地震で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。また、避難所設営等にご尽力いただいた方々に感謝申し上げます。

## 地域と共に！ 「躍進」の木戸中学校

校長 中野 民生

東区では令和元年度より、4月末から5月初のゴールデンウィーク中に「区民のこいのぼりプロジェクト」として、寺山公園で鯉のぼりを掲揚する取組を行っています。木戸中学校もボランティア委員会の生徒などが協力参加してきました。

鯉のぼりには、人生という流れの中で遭遇する難関を鯉のように突破して立身出世して欲しい、という願いが込められており、古代中国の故事に由来するそうです。

『登竜門』…中国の黄河上流に竜門という激流が連なる滝があり、そこを登り切った魚は霊力が宿って龍になるといわれていました。その滝を登るほどの勢いのある淡水魚は、清流のみならず池や沼地などでも生息できる生命力の強い鯉をおいてほかにありません。ある時、一匹の鯉が激しい滝水に逆らいながら竜門を登りきったところ、鯉は龍へと変身し天に昇っていきました。中国では龍は皇帝の象徴でもあり、とても縁起のいいものなのです。この登竜門という故事が、立身出世の関門を示すお馴染みの慣用句の語源ですし、「滝」という漢字もこの故事に由来しています。また、古代中国の超エリートである官吏登用試験制度の科挙の試験場の正門も「竜門」と呼ばれています。江戸時代に、庶民の間で鯉の滝登りで立身出世のシンボルとなった鯉を幟（のぼり）にするアイデアが生まれ、町人の中で鯉のぼりが揚げられるようになりました。当時は乳幼児の死亡率が高かったため、健やかな成長を祈る気持ちの表れでもあったということです。

令和6年は辰（竜）年。3年生には、間近に迫った受験という関門を突破してほしいと願っています。また在校生は「区民のこいのぼりプロジェクト」等に積極的に参加するなどして、地域と一体になって木戸中学校の勢いをさらに上昇させる躍進の一年にしましょう。

令和5年度 後期前半を振り返って

10月15日 防災訓練・Chibi Unity



10月28日 おおとり祭



11月1日 PTA 挨拶運動



22日 進路説明会



13日～24日 生徒会役員選挙運動



21日 立会演説会



22日 投票



12月 3年生幼児ふれあい体験学習



12月6日,7日,8日 修学旅行



16日 育成協 昔の遊びと餅つき



10月10日から始まった後期も前半を終えました。落ち着いた雰囲気の中で、文化面や学習の活動、地域の活動に生徒達は仲間と協力し合って、取り組んでくれました。

3年生はいよいよ受験モードに突入しました。受験はチーム戦と言われます。自分で決めた進路を実現させるために、挫けそうな時、誘惑に流されそうな時、問題が解けない時に互いに教え合い、励まし合う仲間がいると乗り越えられます。全員の進路が決まるまで、仲間と一緒に頑張り！

新しい年が始まり、1月からの3ヶ月は振り返りとまとめ、進学・進級に向けた準備の3か月です。良い準備をして、大きな飛翔につなげてください。